

(平成22年5月7日)

課室名

新しい学校づくり推進室

件名	上野原高等学校の学科改編について
経緯	<p>○ 経緯</p> <ul style="list-style-type: none">・昭和54年 開校(普通科5クラス)・平成9年 「山梨県高等学校整備新構想」に基づき「英語科」を設置・平成14年 都留高等学校の理数科廃止に伴い、「英語科」を「理数科」に改編・平成19年 普通科における全県一学区制導入・平成21年 「県立高等学校整備基本構想」策定 <p>〔総合学科〕 既存の総合学科については、生徒の実態や時代の変化を見極め、系列及び選択科目の見直しや教育内容の改善等を行い、今後も継続します。 また、普通科志向の中にあっても、生徒の学習ニーズはますます多様化していることから、これまでの設置方法に加え、<u>総合学科のメリットを普通科の改編に活用し、「普通科目を基軸にした総合学科」の設置について検討</u>します。</p>
内容	<p>「県立高等学校整備基本構想」に基づき、教育内容の更なる充実と高校の特色づくりを図るため、普通科と理数科の募集を停止し、普通科目を基軸にした総合学科に改編する。</p> <p>○ 改編の理由</p> <ol style="list-style-type: none">1) 理数科の定員割れが続き、地域の中学卒業生数の減少率も高いことから、今後も理数科の定員を満たすことは困難と予測される。2) 生徒一人ひとりの夢や希望を叶え進路実現を図るため、「福祉」、「環境科学」などの学校設定科目、大学と連携した講座受講など特色ある教育活動を展開してきたが、現状では科目履修に制限がある。3) 総合学科に改編し、一定の教員数を確保することにより、今以上に多様な選択科目を用意でき、生徒が進路希望に応じた科目の学習を進めることが可能になるとともに、部活動においても生徒の希望に合った活動が展開できる。4) 総合学科の原則履修科目である「産業社会と人間」を通して、生徒一人ひとりが自分の将来就きたい職業や生き方について学ぶことができることから、「やまなしの教育振興プラン」の重点施策であるキャリア教育の一層の推進が期待できる。 <p>○ 開講を予定している科目群</p> <ol style="list-style-type: none">① 人文・語学系・・・国語、英語、語学など人文・語学系に重点をおいた科目群② 社会・国際系・・・歴史、経済、国際関係など、社会科学系に重点をおいた科目群③ 理工系・・・理科や数学など自然科学に重点をおいた科目群④ 福祉・健康科学系・・・福祉や看護医療系など、生活や健康に重点をおいた科目群⑤ 芸術・服飾系・・・芸術、服飾に重点をおいた科目群 <p>「科目群」とは、「普通科目を基軸にした総合学科」の特色を生かし、生徒が自分の興味・関心や進路希望に応じて自由に科目の選択ができるよう、上野原高校が独自に採用した考え方であり、「系列」の概念を拡大したものである。</p>

〈問い合わせ先：新しい学校づくり推進室 赤池（内線8306）〉